

2022年6月7日

業界初、文字フロー型自動組版ツール「Argo」を開発し 「ハイスピード」「ローコスト」「ハイクオリティ」DTP 組版を 実現しました。

株式会社スマートゲート(本社:東京都豊島区、代表取締役:後藤 康宏、以下スマートゲート)は、よりスマートな DTP 組版サービスをお客様に提供することを目指し、新開発した業界初の文字フロー型自動組版ツール「Argo(アルゴ)」の制作ラインへの導入を 2022 年 6 月 8 日(水)から開始しました。

文字フロー型の組版においては、一定のルールで作成されていないため、仕様に沿った形での自動処理は困難とされてきましたが、弊社がこれまで培ってきた電子書籍制作におけるインデザイン解析ノウハウを生かし、DTP 組版の領域で自動処理の実現を可能としました。

以下の通りご案内させていただきます。

■従来の組版と自動組版ツール「Argo」との違い

【従来の組版】

文字フロー型の組版は、Word 原稿を元に DTP オペレーターが組版を行います。

その結果、DTP オペレーターという職人性の部分においてコストがかかる傾向がありました。

また、DTP オペレーターが確保できない場合は、スケジュールの調節が必要となり納期が長期化しておりました。

手作業で行わざるを得ない作業が多く、人為的ミスに割くべき時間の確保が必要でした。

【自動組版ツール「Argo」】

「Argo」では、従来の組版の問題をすべて解決します。

DTP オペレーターが作成する前に Word 原稿を「Argo」に適した形でテキストの整理を行います。整理されたテキストをインデザインで読み込み、「Argo」を実行することで、「段落スタイル」「文字スタイル」「オブジェクトスタイル」をはじめとして、その他の細かい設定が反映されます。

その後、DTP オペレーターがブラッシュアップを行い、完成となります。

組版の経験がない人でも一定のテキスト整理が行えれば、おおまかな組版が出来るため、職人
性のある DTP オペレーターの工数を軽減でき、大きなコストダウンが図れます。

このように「ハイスピード」「ローコスト」を実現し、内校への時間が十分に確保できる事で、「ハイク
オリティ」を実現しました。今後も業界が抱える諸問題に対して、テクノロジーの力で解決に取り組
んでまいります。

■ご利用方法

サービスサイトより、お問い合わせくださいませ。

<https://smartgate.jp/solution/dtp/>

【本件に関するお問合せ先】

小林 野中

メールアドレス: support@smartgate.jp